

「ごみを正しく分ける」のはなぜ？

答え1 環境を守るためです

もえるごみや埋め立てるごみが少なくなれば、ごみを燃やしたときに出る排ガスや焼却灰なども少なくなります。リサイクルできるものを分別してごみを減らすことにより、大気や地下水などの環境負荷の低減につながります。



答え2 資源を有効に活用するためです

家庭から出るごみには、資源として再利用できるものが多く含まれています。この再利用可能なごみを正しく分別することにより、「ごみ」をリサイクル可能な「資源」に変え、有効に活用することができます。



答え3 施設を長持ちさせるためです

ごみが減ることにより、処理施設の設備や機器に対する負荷が少なくなり、施設や埋め立て地の延命化が図られます。また、ごみ処理施設の建て替えには多額の事業費が必要です。ごみの減少は施設の維持経費を抑えることにもつながります。



ごみ減らしのポイント～3R

3RとはReduce (リデュース) / Reuse (リユース) / Recycle (リサイクル) の総称です。ごみを減らし、社会を「使い捨て型」から「循環型」へと変えるキーワードです。

1
リデュース
Reduce
(発生抑制)

ごみをもとから減らすことです。ごみになるものを買わない、もらわない。長く使えるものを買しましょう。

2
リユース
Reuse
(再使用)

くり返し使うことを指します。リターナブル容器のものを買ったり、リサイクルショップを利用しましょう。

3
リサイクル
Recycle
(再生利用)

資源として再利用することです。出たごみを資源として分別し、リサイクルされたものを買うようにしましょう。